

2026年3月31日

都道府県加盟組織 御中

一般社団法人全国腎臓病協議会
社会保障委員会

中東情勢に伴う医療関連物資等の供給動向について（第1報）

中東情勢の影響が懸念される中、現時点では、透析医療の継続に支障が生じる状況にはないと関係機関から連絡を受けています。

一方で、透析医療に必要な医療材料等の供給について不安を抱かせる報道もみられることから、医療関連物資等の供給動向について、現時点で確認できる国の対応状況を取りまとめ、以下のとおりお知らせいたします。

令和8年3月24日に開催された「中東情勢に関する第1回関係閣僚会議」において、総理は、ナフサをはじめとするエネルギー源ではない石油関連製品についても、工業のみならず、農業、医療等に関係するものを含めたサプライチェーン全体について、「世界の供給状況」や「国内在庫の量」などを踏まえた対応方針を取りまとめ、本閣僚会議に報告するよう求めました。※1

また、同会議に提出された経済産業省資料によれば、ナフサについては、

① 川下在庫の活用（約2か月）

② 中東以外（米国、南米等）からの輸入及び国内での精製（約2か月）

により、安定供給に向けた取組が進められているとされています。さらに、各社においては、中東以外からの更なる代替調達も進められているとされています。※2

経済産業省は、「中東情勢関連対策ワンストップポータル」において関連情報を発信しています。あわせて、「燃料油や石油製品の供給に関する情報提供」の受付を設け、燃料油や石油製品の供給状況等について、事業者や消費者からの情報提供を受け付けています。※3

国会審議では、医療用医薬品や医療機器について、平時から供給不安のおそれが生じた場合には企業に報告を求め、供給不安の迅速な把握に努めていること、現時点では直ちに供給が滞るとの報告はないこと、その上で、課題が生じた場合には必要な対応を行う考えであることが示されています。※4、※5

現時点では、国において直ちに供給が滞るとの報告はないとされていますが、全腎協としても、今後の動向を引き続き注視し、必要に応じて情報提供を行ってまいります。

※1 中東情勢に関する関係閣僚会議

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/chyutoujyousei/index.html>

- ※2 経済産業省提出会議資料「中東情勢を踏まえた燃料油・石油製品の安定供給確保」
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/chyutoujyousei/dail/pdf/siryous4.pdf>
- ※3 中東情勢関連対策ワンストップポータル
https://www.meti.go.jp/chuto_josei/index.html
- ※4 参議院インターネット審議中継（令和8年3月24日 厚生労働委員会 3:45:12～3:48:34）
<https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php?fromtop=1&sid=8514&time=3310.50>
- ※5 医薬品等の供給不安への対応について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryous/iryous/kouhatu-iyaku/index_00006.html